

令和元年度 鹿児島県広報コンクール

①市町村 ②作品名 ③収録時間 ④担当課

■映像部門

〈特選〉



- ① 薩摩川内市
- ② 薩摩川内市市勢PR動画
- ③ 約13分間
- ④ 薩摩川内市 広報室

○講評

〔企画〕

- ・薩摩川内市がどんな所でどんな人がいて、どう暮らしているのかわかりやすく表現されていた。
- ・移住や定住を軸に街の魅力をあますところなく紹介しているが、やや総花的な感じもする。

〔表現・構成〕

- ・映像の長さの種類や外国語版も設定するなど、意欲的に制作している。
- ・「つなぐ」「暮らす」など項目の構成で、内容が理解しやすかった。

〔視覚的効果〕

- ・9つの自治体が合併してできた広い薩摩川内市らしく、各地域ごとに異なる様々な風景や伝統行事などを、ドローンも駆使した美しい映像で描いている。
- ・文字スーパーの使い方が絶妙。映像も美しい。

〔その他〕

- ・多言語に対応している点が時代にあっている。13分という長さを感じず、飽きることが無かった。

令和元年度 鹿児島県広報コンクール

①市町村 ②作品名 ③収録時間 ④担当課

〈 入 選 〉



- ① 鹿屋市
- ② 鹿屋市農泊PR動画
- ③ 3分59秒
- ④ 鹿屋市 ふるさとPR課

○講評

〔企画〕

- ・民泊に絞っていてわかりやすい。こんなに民泊ができる農家があるのかと驚かされた。
- ・民泊事業者の素朴な雰囲気描かれ、鹿屋市の民泊の魅力が表現されていた。

〔表現・構成〕

- ・カットが短く、テンポがいい。インタビューに出てくる民泊農家の人柄が出て、人情味を感じる。自慢の料理もそれぞれ出てきて構成に統一性がある。
- ・冒頭にタイトル、地図、コメントフォローの文字スーパーを入れると、よりわかりやすく、伝わる内容になる。

〔視覚的効果〕

- ・カメラワーク、話す人の顔の向きなどを工夫して相手の自然な言葉を引き出していた。
- ・鹿屋らしい自然や施設が描かれているが、県外の人や外国人には、十分に伝わらないのではないかと。

〔その他〕

- ・1カットの秒数が短く感じたため、VTRを長くして、じっくり見せてもいいのでは。